常磐毎日

発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 電話1210番

銘菓 平餅(ぴんぴん) 御土産、御贈答には地方発送承ります 御菓子司 松月堂 電話206・2206

優秀船と功労者表彰 縣漁協役員大會開く

第五回県漁業協同組合役員大会並びに優良漁船漁業功労者表彰式は十七日午後一時から平市公会堂で開らかれた。表彰者次の通り(カツコ内は船主)

知事賞▽マグロ、カツオ漁業第八太陽丸(吉田喜好)▽機船底曳漁業、四倉第八金比羅丸(鈴木厰一)▽旋網勝丸(三代義勝)

優勝漁船 マグロ、カツオ漁業県カツオ、マグロ第八太陽丸(吉田喜好)▽機船底曳網漁業、四倉第八金比羅丸(鈴木厰一)▽母船式マス漁業県北洋第五福吉丸(金成文平)

優秀漁船▽カツオ、マグロ漁業県カツオマグロ第三喜丸丸(坂本喜代松▽旋網漁業小名浜底共徳丸(伊藤房蔵)▽母船式サケマス漁業県北洋サケマス第八源海丸(高橋英男)▽機船底曳網漁業、小名浜第五瑞宝丸(馬上庄治)、小名浜三神丸箱崎雅也)、江名第八興洋丸(志賀寅吉)、中之作第五得栄丸(吉田伝兵衛)、四倉やよひ丸(吉田彌十郎)、四倉第一康盛丸(片寄コウ)、久之浜三誠丸(北郷藤三郎)、相馬原釜宝勝丸(菊地喜一)

優秀漁船▽小型漁船、勿来振興丸(渡辺勝太郎)、植田永進丸(抑葉登喜雄)、剣浜八崎丸(高橋由次郎)

漁業功労者 小名浜比佐政理、江名加沢万五郎、中之作吉田兵十、植田豊田豊、久之浜鈴木常七

議長菅本、副熊田 難航した内郷初市会

内郷市の初市会は十六日午前九時から同市公民館二階会議室で開き臨時議長に寒河江氏を推して正副議長選出に入つたが、常磐、戸部など炭砿労組グループと共産党および左派系グループ、更に保守系グループの折り合いつかず難航、前後五回に及ぶ休憩の末ようやく午後四時三十分無記名投票の結果十三票菅本三義議員、十二票志賀忠司議員、一票円谷兼広議員となり、結局菅本前議長が僅か一票の差で再選された。

その後副議長選出に移つたが、草野議員と共産派鈴木勢夫議員の強引な発言によつて議長提案を拒否、副議長、常任委の選出は遂に十七日に持ち越しとなつた。

なお持ち越された副議長選出は十六日開会後直ちに無記名投票の結果熊田豊次氏(五〇)が十九票、以下根本正氏八票、志賀忠司氏二票、円谷兼広氏一票で熊田氏に決定した。

熊田氏は平事件分離派被告組の主謀者で懲役五年を求刑されている。

甘言に欺されて 九州から無一文で帰る

友人の「職を世話する」という言葉を信用したために、今までの職は失い、持参金まで失つて途方に暮れた末故郷へ帰ろうとまる一週間飲まず喰わずで八十里の道を歩き、空腹と疲労で歩行困難となつてしまい宛の果て門司鉄道公安室から平鉄道公安室に長距離電話で招介があり、公安官の思いやりで無事故郷の赤井に帰つて来た人があつた。

話題の人は平市赤井字日当八坪田某さん(三七)で二カ月前和歌山県で大工をしていたが、九州にいる同僚から「此方に良い職があるので、迎えに行く」と云う言葉を信用して、迎えに来た同僚と一緒に大阪まで行つたところ同僚が「金がないから千五百円貸してくれ」そのまゝドロンをきめ込まれてしまつた。

この様な事をされた坪田さんはウツプンをはらそうと同僚のいる九州の宮崎まで船に乗つていつたが同僚の姿は失く、就職しようとしても身元、保証人はなくどこへ行つても断わられ、途方にくれた坪田さんは平まで歩つて帰ろうと宮崎から夜は山、神社などに寝泊り八十里の道を一週間かゝつて門司にたどりついた時には空腹と疲労から歩行困難となつてしまい、門司鉄道公安室に保護されている旨平鉄道公安室に電話連絡があり、家元を招介したところ兄が居る事が判つたので早急連絡し、坪田さんは十六日午後三時無事平駅に到着、やせおとろえた顔に涙を浮かべながら「これからは人の言葉にだまされず、自分の尊念した道を進みます」と語つていた。

築港の整備促進 四倉町長ら大學陳情

四倉町長=吉田寿三郎氏=は町民との公約の一つである同町築港問題の件について、町長始め、議長佐藤広治、副議長岡田鶴吉、港湾委員長佐藤仲各氏らと十六日午前十一時四倉出発、県庁並に農林省に築港予算一億円の陳情に乗り出し、今後の成行が一般町民より注目されている、尚帰町は二十日頃の予定、陳情書の内容次の通り

四倉港は福島県沿岸の中央に位し地理的条件を備えた重要な地位にある漁港にして、古来小型漁船による近海漁業たるも、現在は五〇屯より一〇〇屯級の漁船が遠洋及北洋に出航にある現況なるも、将来は二〇〇屯以上の大型船をして、南北洋就港寄地としたき要望であり、本港は大正初年港口岩礁に防波堤を築造その前面二〇〇平方米をしゆんちようして漁船のじよう泊に便ならしめた、之により漁船の同所に出入じよう泊するもの多きを加えるに至り漁業の中心点とし、昭和五年地方港湾に指定せられたが、既設の船溜では大型機械化に対しては、小規模にすぎ、且つ漂砂の侵入著しく、尚暗礁点在し船舶の出入不便と危険を供うため、昭和七年既設防波堤を利用して、南北防波堤を築造締切り、港口を岩礁の前面深所に求め船溜を掘さく一応漁港としての体系を整えた然るに最近の底曳漁業の整備転換による大型化並に北洋サケ、マス出港による大型化なるため、現在の航路船溜の水深三米にては到底入出航不可能の状態に陥いつて居り又目下二〇〇屯級の南方サケ、マス漁業開始の計画もあり将来大型機械船の船溜としては、完全なるを以つて、更に船溜平均干潮面以下水深を四米、航路を五米とし尚漂砂侵入の防止及船舶の出入港に便ならしめるため、沖正面防波堤を築造に将来完全なる漁港施設の完成を図る計画である。

弓道大会

平地区鉄道倶楽部主催の弓道大会は二十六日正午から平市弓道場で開かれる。

平地區労協

平地区労組福対協第一回幹事会は二十日午前十時から平市労政事務所で開き、幹事会の決算報告、第二回総会の開催日などについて協議する。

飛込んで幼少救う

十五日午後六時ごろ同市堀ノ内地内を流れている愛谷江筋わきで遊んでいた、同字正木定勝さん長女ミエ子ちやん(四つ)が誤まつて川に転落、急流に押し流されて水死寸前となつているのを隣家の清野氏一郎さんが発見、永く患らつて病床にある身も忘れ寝のみのまゝ飛び込んで尊い命を救つた事が判明、親達、隣人達から厚く感謝されている。

帯納一掃に強硬策 平市税務課

平市税務課では十六日から六月の十五日までを帯納整理強化旬間とし、他課から臨時に七名の応援を求めて全市内の帯納一掃に馬力をかける。

差押物件の引揚は月末から実施三十一日に公売することになつているが、二十八年度以前の帯納額はおよそ一千万円に達しており、市民の協力を要望している。

優良運轉者表彰 常磐、交通安全協力者も

交通安全協会常磐支部(支部長渡辺長作氏)では十七日午後六時から常磐市湯本公民館で運転者講習会を開らき、席上優良運転者と永年道路の愛護と交通事故防止に協力した三島吉雄、桜井庄吉氏を表彰する。優良運転者次の通り。

小松繁次、陰山長三郎、高木英雄、比佐英夫、前田良雄、大越昇、長沼栄長、白土正、鈴木一馬、箱崎喜平、小野武貫、草野秀雄、志賀習、佐藤為吉、佐藤英寿、宮田政一、坂本政雄。

常磐商工会

議所各部会は十六日午後一時から同市湯本公民館で開らき、二十年度事業計画その他について協議した。

初総会開く 四倉理美容組

四倉町理容組合=組合長、戸田忠氏=では、十六日午前九時より同町本町青年会館に於いて合併初総会を開き、▼美容理容衛生の増進▼昭和二十九年度決算報告等を協議し並に感謝状、店舗表彰、個人表彰を行なつた、表彰者次の通り

▼感謝状 飯島常則、猪狩与之吉、佐藤光芳

▼店舗表彰 佐藤慶次郎、飯村久之助、

▼個人表彰 山下フク外二名。

「平市を守る会」発足

「平市を守る会」結成式は十六日午後七時からいわき民報ホールで開き、会長浅田登美雄(国鉄)、副会長松本光一(日本水産)、事務局長佐藤武之(加納印刷所)の各氏をきめた。

この会はボス政治を排し市民の手で明るい街を作ろうというスローガンのもとに発足したもので、当日は平市議上坂昇氏、塩庄造氏、志賀伝吉氏が来賓として出席した。

ポリドール散布指導

県農政課、薬務課では二十七、八日午前九時から平保健所で「ポリドール指導員講習会」を開きポリドール散布にともなう危険性に就いてなどを指導する。

会長柳井氏

四倉町内(大浦、大野)各區、中小校の教務主任が、十六日午後一時より四倉小校P、T、A会議室に集り、会員相互の新題を計り、学校社会の建設を目ざし、教育新題に寄与するため、教務主任会を結成役員は次の通り。

会長、柳井七郎氏(四小)

副会長、木村栄氏(四高)

副会長、松本義夫氏(四中)

トラに列車おくらさる

酔つた乗客が機関室に来て悪態をついた為列車が約二分おくれたという話

十六日午後九時半ごろ常磐線上り二三四列車が広野、末続間を進行中、双葉郡大久村大場土工柴田義夫(三七)が客車から機関車テンダーに乗り移つてきたので車掌渡辺了さん達が押さえて末続駅で下車させようとしたところ「俺はもと国鉄の職員だつた」と大見得を切り、生意気な助役だと暴れようとしたが倒々同駅でおろされてしまつた。此のさわぎのために列車は約二分おくれて末続駅を発車した。

天気予報

(明日)東乃至南の風發りがち遅くなつて小雨の天気でしよう(海上)今晩多少風波あり明日は次第に風波高く朝方霧の発生することがありますから漁船は注意を要します。

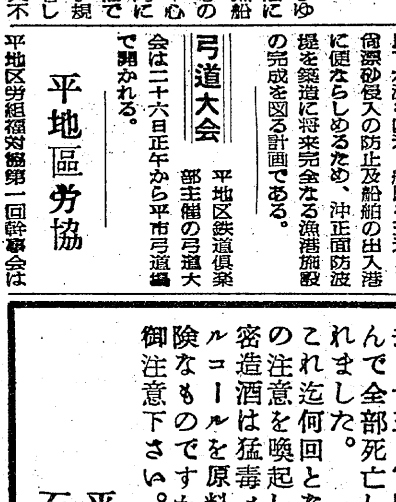
怖ろしい!! 殺人密造酒現わる!!

去る十三日富岡町で五名が密造酒を飲んで全部死亡したことが新聞で報道されました。これ迄何回となく新聞ラジオ等で一般の注意を喚起してきたところですが、密造酒は猛毒メチルの入つた工業用アルコールを原料として造つた非常に危険なものですから決して飲まない様に御注意下さい。

平税務署
石城小売酒販組合

日活 日活 信用ある日活映画 日活 日活 日活 日活 日活 日活 日活 日活 日活 日活 日活 日活 日活 日活 日活

映画界最高の機能を発揮して贈る日活の「青春怪談」 18日ヨリ



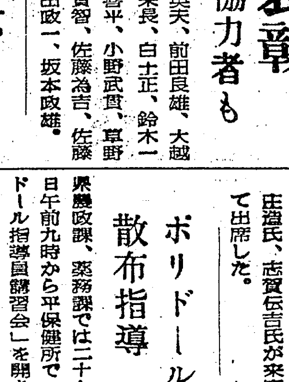
原作は獅子文六の読売連載評判の小説
監督は市川得意のタッチ
配役は最高適役6大スタアの競演

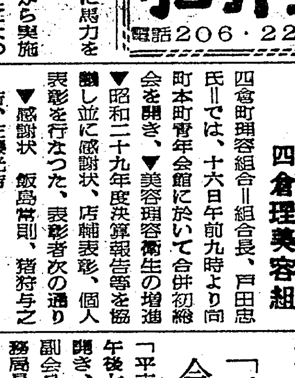
日活の 青春怪談 (せいしゅんかいだん)

山村聰 三橋達也
北原三枝 山根寿子
轟夕起子 差我美智子
新星…芦川いづみ

平舘

日活名物…次郎長映画の第二弾
次郎長一家が秋葉の山から天城の川へ
またも巻き起す痛快無類の大殺陣…



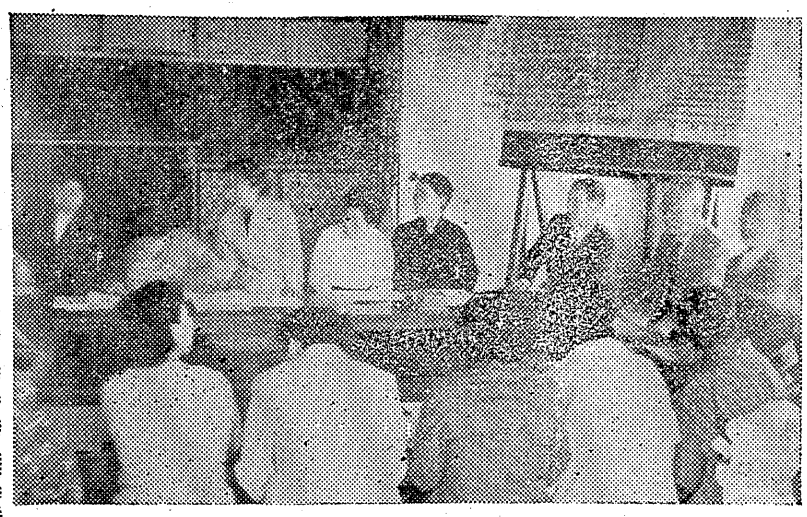


河津清三郎
北原三枝
森繁久弥
水島道太郎

次郎長遊侠伝 天城鴉
監督 マキノ雅弘

日活 日活 日活 日活 日活 日活 日活

昭和30年5月17日（火曜日） 第1450号 常磐毎日新聞 （新聞定価1カ月80円・1部3円）第三種郵便物認可 （二）



受胎調節の座談會
厚生大臣を圍み磐崎で

「家族計画」のモデル地区として指定されている磐崎坑の過去二カ年にわたる立派な成果は、今後の日本の人口問題に大きな反響を呼ぶものとして関心がもたれているが、われわれが楽しい家庭生活を、いかに豊かにするか、そのためには生活に応じて幾人位の子供を産んだらよいか、それにしても母の年令は最終的には何才位が適正か、少くとも末の子が高校教育の終る頃と主人の定年年令とが一致するようにするにはどうすればよいか、受胎調節にはどんな方法でどうすればよいか等々身近に起る色々な問題を、その道の権威者である国立公衆衛生研究所長古屋博士を中心に、十五日午後二時から開らかれた同砿主婦の会の座談会から拾つてみる

（写真は厚生大臣を囲んで開かれた磐崎坑主婦の会座談会場）

同砿がモデル地区に指定されたのは去る二十八年二月で、今日まで満二カ年間にわたつて磐崎坑の七百十六世帯について実施したものであるが、博士の報告によると指導の年は姙娠数が二百八名だつたものが一年目には百七十七名となり二年目には百三名に減つた、出生数も百三十から七十七となり昨年度は四十九となつている。

皆んなが真剣に実行しているので全く理想に近い成果であると厚生大臣一行を感激せしめたが博士の報告後婦人たちの懇談に入り、色々活発な意見がとり交された。その主なるものを拾いあげると。

実施の感想

▽私は実施前までは自分の時間というものがなかつた、二年半から二年八カ月目に次が生れて来るので、養育に追われて毎日の新聞すら読む暇がなかつた、受胎調節後自分の時間が始めて獲得出来た、現在四人の母であり、最低が四才である。主婦として自分の時間が出来たことは文化人としての誇りと思つている。

▽二、三年前までは、主婦の会、婦人会などの集りは全く愚く、いつも限られた人たちだけの会だつたが、この頃ではとても出席率がよくなつた、調節で乳のみ子がないせいだと思う。

▽会社では五十五才で厚生年金が切られる。そこで一番あとの子供が定年になるまでにせめて高校教育を済ませてやりたい

▽私はプランして三人にとめている。それこそ家族計画の理想であると思い今後も調節を実施して行きたい。

実施の方法

▽コンドームが一番多いが、主人が協力的でないと失敗し易い、①酒などのんで来ると、一回位大丈夫だろうと、つい使用しなかつたが最近は協力的になつた②帰りが遅いときなどぐつすりねむつてしまう、そんなとき暁方なので使わずにすませる時がある。③終つてから永い時間遊んでいると、もれて姙娠することがある。関西の方の話だが、これと同じケースで面白い話がある、コンドームを使つたがモレて姙娠した、主人はオレの子ちやないと聞き入れない、仕方なし生んだら、主人にそつくりの子が出来たーと言う話があるので使用上注意してほしい

▽ベツサリーを主人に内密で使つたら、なんだか感じが変だと言うので見つかつてしまつた、予め相談すべきだ。

▽中絶して、ハダシで洗濯、主人にかくして体を使いすぎて過労から死亡した人がいた、中絶は体を壊す、耳なり、ざるい、微熱などが出て来る、結局薬品か器具にしている。

▽厚生大臣＝私も子供は二人でやめている、中絶も一度したが母体に悪い、器具薬品で調節するのが安全である。

金へん泥の仕業

十五日平前午後六時三十四分常磐線下り四二七列車の五輌目と九輌目給水便一個、便所窓錠二個が失くなつているのを車掌が発見した

珠算検定

平商工会議所主催の第二十四回珠算検定試験は六月二十六日平商高で行う、申込み受けつけは五月二十日から六月十六日まで平商工会議所、受験料は一級百十円、二級百円、三級九十円、四級―六級五十円。

口腔衛生強調運動週間
歯をきれいにしよう
ポスターなど募集

六月四日から十日迄の一週間くり広げられる。三十年度口こう衛生強調運動週間に平市教育委員会と平保健所がタイアップしてポスター、標語募集など種々な行事を行うことになつた。

この口こう衛生の重要性については口こう疾患とまん延状況、口こう疾患特にうしよく歯そのうろう等の継発性為害性、口くう疾患及び其の継発症の予防による経済的利益、口こう疾患の予防知識については乳幼児、学令期、姙産期等の歯科形成時期と栄養との関係、六才旧歯の重要性と其の保護、定期的口こう健康相談と早期治療の必要性などが上げられており、期間中は予防日を次の様に定める事になつた。

▽四日虫歯予防デー▽五日歯の検査を受ける日▽六日しそうのうろう予防の日▽七日悪い歯予防の日▽八日母と子の歯を愛する日▽九日そうつて歯をきれいにする日▽十日歯のはたらきに感謝する日、この実施方法としては関係機関、団体と連絡をとり推進を計る。新聞雑誌広報を利用、パンフレットの配布、講演会、座談会、幻灯会などを催して予防に対する知識を深める事になつている。又この期間中にポスター、標語を募集することになつた。応募資格は小、中学校児童生徒で内容は次の通り

▽ポスタークレヨン、水彩、ポスターカラーのいづれかを使用する▽標語、字数に制限なく、口くう（歯、口）衛生を主題としたもの▽締切りは六月十日で最寄りの保健所宛提出する▽発表六月十八日

藤城さんら知事賞
愛鳥週間の入賞作品

去る十日から全国一せいにバード・ウイーク（愛鳥週間）が繰り広げられたが期間中管内各小、中校から応募されたポスター、作文、標語、習字など百八十点が寄せられ、地方事務所林務課、県教委石城出張所共同審査の結果、十六日午前十時から地方事務所会議室で一等賞四名に知事賞、二等賞八名三等賞十四名に所長賞がそれぞれ贈られる。入選者次の通り

▼図画ポスター
①藤城次郎（平二小）②森田紀代子（内郷二中）松岡洋子（赤井中）③佐藤恵子（内郷二中）菅本誠兒（綴小）高崎愛子（赤井中）永山康久子（赤井中）

▼作文 ①鈴木邦枝（平二小）②千葉洋子（内郷二中）③松本繁（平二小）中里和子（平二小）松岡紀子（内郷二中）

▼標語 ①猪狩雅治（平二小）②白井陽子（平二小）沢田弘子（平三中）③吉田悦子（平二小）村上幸夫（内郷二中）鈴木政男（高坂小）矢田好子（綴小）

▼習字 ①影山弘子（平三中）②藤田孝司（平二小）遠藤加代子（赤井中）③白土陽子（平三中）高島絹子（内郷二中）安田千明（白水小）

人妻家出

速野町上高萩縄知実さんの妻梅子さん㈣は去る九日午前十時ごろ

商工会館の入札
二十二日執行と決まる

平商工会議所の常議員会は、十四日開かれ▽会頭辞任問題▽商工会館入札の件等について協議した結果、入札の件については、十七日指名請負者に対し現場説明を行い二十二日競争入札を行うことになつた。

会頭辞任問題については、野崎会頭令息常磐交通軍役野崎理夫氏と話合いの末、十五日朝草野専務は理夫氏を同道して、且下選挙疲れを某温泉地で療養中の野崎会頭に面接のため出向、会談の結果会頭辞任の意向なきを確認して帰つた。

銘菓と殺人事件
無札少年保護

談の結果が注目されている。

水戸市石川町無職少年某（二）は十六日午前十一時五十分ごろ平駅附近をうろうろしているのを鉄道公安官に発見されて保護をうけ母と二人で住んでいるが、平方面で働くため、十六日早朝下り四二五列車に無札で乗車したことが判明した。

ラジオ古山